

《3月の番組ガイド》

鳥取市広報番組

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【話題・特集】

- ▷鳥取市観光マイスター認定証授与式
- ▷鳥取マラソン新コースで開催
- ▷とれたてグルメ
- ▷図書館だより など



【昨年の観光マイスター認定証授与式消防出初式】

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土



イベント、募集、相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内しますで再放送します。

鳥取市議会2月定例会

市議会定例会の開催・一般質問の模様を終了まで生中継、当日の午後6時から122ch(第2放送)で再放送します。

いなばぴよんぴよんネット 自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

しいたけなどの収穫や各地の加工グループの活動、栽培情報では春から始まる農作業などをお知らせします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

ひなまつりなど季節の伝統行事や、卒業・卒園を迎える子どもたちの話題を紹介しています。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介しています。

122ch(第2放送)

週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでしゃんしゃん体操を毎日放送中!

番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください!

いなばぴよんぴよんネット ☎0857-22-6111
 ※放送予定は予告なく変更することがあります。
 番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。
<http://www.inabapyonpyon.net>



ロシアの民族舞踊をお客さんに披露

ちパル鳥取で振る舞われ、「おいしい」「温まる」とみなさんが舌鼓を打っていました。鳥取で出会ったロシア人の友人と民族ダンスを学び、さまざまな場面でみなさんに披露しています。「ロシアの文化に触れることができよかったです」とお客さんからも好評。イリーナさんは「もつとたくさんの人に口

シアのすばらしさを伝えたい」とメッセージを送ります。**鳥取の魅力の世界にPR** イリーナさんは、東京に住む友人とフェイスブックページ「いいね!鳥取」を運営。12万人を超える世界中のみなさんに鳥取の魅力を伝え、コミュニケーションをとっています。また、最近では「トットリーナ」というツイッターにも力を入れ、「トットリーナ」の名前で、日々の仕事の発信をしています。ロシアから訪れる観光事業者や観光客に鳥

取を案内することも仕事。「私が案内した外国人は、みんな鳥取ステキと言います。鳥取は私の2番目のふるさとなので、ステキと言われることがとてもうれしい」と、イリーナさんは喜んでいました。今年の砂の美術館のテーマはロシア。周囲のみなさんのロシアへの関心はますます高まります。イリーナさんは「本当に楽しみです。たくさんのお客さんが来てくれるように私も頑張ります」と意気込みます。「母は、一度も海外旅行をしたことないので、初めての

旅行は鳥取に来て、鳥取のステキなところを感じてほしい」と、イリーナさんは夢を語ります。イリーナさんは、現在、就航中のDBSクルーズやラジオストック市とのチャーター便を使って数十名の学生を誘致し、鳥取に滞在してもらおう計画を考案中。「ロシアの極東だけでなく、ヨーロッパに近い地域でも鳥取の商品を販売したい」と、次の目標を明確にしています。鳥取とロシアの架け橋として、イリーナさんの活動はこれからも続きます。



チェブラコワ・イリーナさん

「鳥取は真珠のよう!貝がらを開けるときれいなものを見せます。初めは分からなくても、少し勉強すると、海も山もきれいで、おいしいものがたくさん、人もフレンドリーだとすぐに分かります」。こう話すのは、チェブラコワ・イリーナさん。イリーナさんは、平成23年3月にロシアアサポートデスク鳥取の相談員として鳥取に移住しました。昨年4月に開所した環日本海経済交流センターのセンター長を務めています。イリーナさんは、現在のベラルーシに生まれ、ロシアの極東にあるハバロフスク市で育ちました。大学生のときにハバロフスク市の日本料理レストランでアルバイトを始め、そこで初めて日本人と日本の料理に出会いました。「日本との出会いは運命的でした」とイリーナさんは振り返ります。日本料理のおいしさを知り、文化や言葉にどんどん興味が沸いてきました。



鳥取市がウラジオストク市を訪問時には、通訳として活躍

安が、初めて出かける、みんなが「ハロー!」とおはようございます」と声をかけてくれたそうです。「鳥取は、ふるさとベラルーシの匂いがする!」と、鳥取に来た時の感動を語るイリーナさん。友人が鳥取のことをよく知らなかったため、不安がありました。初めて出かける、みんなが「ハロー!」とおはようございます」と声をかけてくれたそうです。「鳥取は、ふるさとベラルーシの匂いがする!」と、鳥取に来た時の感動を語るイリーナさん。友人が鳥取のことをよく知らなかったため、不安がありました。初めて出かける、みんなが「ハロー!」とおはようございます」と声をかけてくれたそうです。

「自分の仕事は日本とロシアとの架け橋です」とイリーナさんが言うように、鳥取での仕事はさまざま。ロシアの企業紹介、現地の見本市への出品支援、通訳・翻訳サービスといった企業支援や、小学校でロシアについて学ぶ授業を行ったり、イベントに出店してロシアの郷土料理や民芸品を展示・販売したりするなど、市民に向けた啓発活動も行います。イリーナさんが作るボルシチは、鳥取で育てた赤ピーツなど、全て鳥取産の食材を使用。昨年の12月にま

シリーズ **元気です** 144 **鳥取の“ステキ”を世界に届けたい**



その後、ハバロフスク日本センターに就職。17年間勤務し、日本に携わる日々を過ごす中で、イリーナさんは「実際に日本で仕事ができたら」という夢が生まれ、日本語を熱心に勉強してきました。平成23年、イリーナさんは夢を実現するために来日。全国各地でこれまでの経験を活かせる仕事を探している中、ロシアアサポートデスク鳥取の求人情報を発見しました。「こんな仕事は他県にはなかった。鳥取は日露関係に力を入れていくのかな」と、イリーナさんは鳥取での就職を決断。第2のふるさととなる鳥取での生活が始まりました。「鳥取は、ふるさとベラルーシの匂いがする!」と、鳥取に来た時の感動を語るイリーナさん。友人が鳥取のことをよく知らなかったため、不安がありました。初めて出かける、みんなが「ハロー!」とおはようございます」と声をかけてくれたそうです。

「自分の仕事は日本とロシアとの架け橋です」とイリーナさんが言うように、鳥取での仕事はさまざま。ロシアの企業紹介、現地の見本市への出品支援、通訳・翻訳サービスといった企業支援や、小学校でロシアについて学ぶ授業を行ったり、イベントに出店してロシアの郷土料理や民芸品を展示・販売したりするなど、市民に向けた啓発活動も行います。イリーナさんが作るボルシチは、鳥取で育てた赤ピーツなど、全て鳥取産の食材を使用。昨年の12月にま



特製のボルシチをふるまう

多種多様な仕事をこなす